別記様式第１号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

技術者の兼務承認申請書

野々市市長　宛

所　在　地

商号又は名称

代表者職氏名

　下記の対象工事について、他の工事に従事する（予定を含む。）者を技術者として配置したいため、兼務の承認を申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 技　術　者　氏　名 | フリガナ |
| （生年月日　　　年　月　日） |
| 対象工事 | 工　　事　　名 |  |
| 工　事　場　所 |  |
| 工事着手予定日 |  |
| 従事役職（該当するものに○を付けること） | 主任技術者　・　監理技術者　・　監理技術者補佐 |
| 監理技術者補佐氏名 | フリガナ |
|  |
| 他工事従事状況 | 工　　事　　名 |  |
| 工　事　場　所 |  |
| 発注機関名 |  |
| 請負代金額 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円 |
| 下請金額 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 円 |
| 工　　　期 | 年　　月　　日から　　　　　年　　月　　日まで |
| 工　事　概　要 |  |
| 兼務申請理由 | （理由番号） | （具体的な内容） |
| 対象工事との距離 | ｋｍ |
| CORINS登録の有無 | 有　・　無 |
| 従事役職（該当するものに○を付けること） | 主任技術者・監理技術者・監理技術者補佐・現場代理人 |
| 監理技術者補佐氏名 | フリガナ |
|  |

（他工事発注機関の承認欄）　上記内容について承認します。

　　　　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

（添付書類）

１　申請にあたっては、当該申請書に、兼務させようとする工事の施工場所及び工事概要がわかる書面（位置図、工事設計書等）を添付すること。

２　他工事発注者に承認を受ける際には、他工事発注者に対し、対象工事の施工場所及び工事概要がわかる書面を提示すること。

（記載要領）

１　「対象工事」は、今回、技術者を兼務させようとする工事について記載すること。

２　「工事着手予定日」は、契約書上の着工日ではなく、実際の工事のための準備工事（現場事務所等の建設又は測量を開始することをいう。）の初日をいう。

３　「他工事従事状況」は、他の工事に係る従事状況（予定を含む。）の概要を記載すること。

４　「兼務申請理由」は、今回の申請理由について次のいずれか該当するものの番号を記載し、①及び②の場合は、その具体的な内容を記載すること。

　　　①：工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事であるため

　　　②：施工にあたり相互に調整を要する工事であるため

　　　③：情報通信技術を活用するため

1. 監理技術者補佐は対象外
2. 別紙１「主任技術者又は監理技術者の兼務に関するチェックリスト」を添付すること。

　④：工事毎に監理技術者補佐を配置するため

　　　　注３)別紙２「監理技術者の兼務に関するチェックリスト」を添付すること。

　⑤：同一の建築物又は連続する工作物であるため

　　　　注４)対象工事及び他工事の下請金額の合計が5,000 万円（建築一式は8,000 万円）以上となる場合は、監理技術者を配置すること。

５　「対象工事との距離」は、対象工事との直線距離を記載すること。

６　「従事役職」は、該当するものに「○」を付けること。

　　　技術者の兼務をさせようとする場合について、対象工事と他工事の両工事の現場代理人も兼務させようとする場合は、両工事の発注機関から技術者の兼務に関する承認を得ることで足りるものとし、現場代理人の兼務に関する申請を別途行う必要はない。

７　「他工事発注機関の承認欄」は、他工事の発注者に内容の確認を依頼し、発注者の記名、押印を行うこと。ただし、対象工事と他工事の発注者が同一の場合、他工事が技術者を専任で配置する必要のない工事である場合は、事前に発注機関の承認を得る必要はない。